

## 波多野宏之教授 経歴および研究業績

### 経歴

- 1945.11 山口県豊浦郡豊北町(現、下関市)生まれ
1964. 4 東京外国語大学フランス科入学(69.6卒業)
1971. 3 武蔵野美術大学美術資料図書館主事(～74.6)
1974. 9 司書資格取得(図書館短期大学)
- 10 小平市教育委員会(小平市図書館)主事(～75.6)
1975. 2 学芸員資格取得(文部省)
- 7 東京都立中央図書館主事(～92.9)
- 1984.10 フランス政府給費留学 国立ジョルジュ・ポンピドー芸術文化センター公共情報図書館(～85.6)
1992. 9 慶応義塾大学非常勤講師(視聴覚教育／視聴覚教育メディア論 ～09.3)
- 10 国立西洋美術館主任研究官(～03.3)
- 1995.10 文部省在外研究 フランス文化省美術館局国立美術館中央図書館・アルシーヴ(～96.7)
1997. 9 放送大学客員教授(図書館資料利用論Ⅰ～00.3)
1998. 4 東京学芸大学非常勤講師(～98.9)
1999. 4 駿河台大学大学院文化情報学研究科非常勤講師(美術情報資源論特論～04.3)
2003. 9 駿河台大学文化情報学部非常勤講師(環境芸術論、文化環境設計論～04.3)
2004. 4 駿河台大学文化情報学部教授
- 4 学習院女子大学大学院国際文化交流研究科非常勤講師(文化資源情報特殊研究～16.3)
2006. 4 駿河台大学文化情報学部長(～08.3)
2008. 4 駿河台大学副学長・メディアセンター長(～11.3)
2013. 9 駿河台大学在外研究 フランス国立文化財学院(～14.3)
2016. 3 駿河台大学定年退職
- 6 駿河台大学名誉教授

### 所属学協会等

アート・ドキュメンテーション学会(世話人、幹事長、会長、評議員)、記録管理学会、情報処理学会(人文科学とコンピュータ研究会 連絡員)、日仏図書館情報学会(世話人、幹事、幹事長、会長、顧問)、日仏美術学会、日本図書館情報学会(理事)、美術史学会、日本図書館協会(図書館雑誌編集、現代の図書館編集、図書館年鑑編集、評議員)、日仏会館(評議員)、ICOM(国際博物館会議)、IFLA(国際図書館連盟 美術図書館分科会 常任委員、セクレタリー)、ARLIS/UK&Ireland(英国／アイルランド美術図書館協会)、ARLIS/NA(北米美術図書館協会)

### 図書館・美術館等の外部委員

立川市図書館(協議会)、小平市図書館(協議会)、飯能市図書館(協議会)、東京都写真美術館(図書室運営研究)、神奈川県立近代美術館(葉山館建設)、国立民族学博物館(情報システム運営)、江戸東京博物館(海外日本関係資料調査)、飯能市郷土館(協議会)、日仏会館(新館建設)、放送番組センター(理事)

## 研究業績

### 著書

- フランスの公共図書館. 日仏図書館学会, 1981, 116p. (日仏図書館研究シリーズ No.1)(日仏図書館学会編 共訳編) 第I部 アリス・ギャリグ. フランスの公読書. 日仏図書館学会フランス公共図書館研究グループ訳 第II部 文献目録.
- 読書指導実践事例集. 第一法規出版, 1978, 2冊(加除式). (野地潤也等編 共著) 執筆: III-3-(3)-(ア) 読者(書)相談 [1982], p.4308-4315.
- 美術研究と情報処理: コンピューターによる画像・文献処理はどこまで可能か. 日仏美術学会, 1987.5, 143p. (日仏美術学会編 共著) 執筆: フランスにおける画像ドキュメンテーションの動向 p.89-101.
- ポンピドーセンター公共情報図書館: B.P.I. のサービスと戦略. 波多野宏之, 1988, 117, 64, 92p. 「研究紀要」(東京都立中央図書館) 第17~19号(昭和60~62年度) 掲載論文の合綴.
- A l'écoute de l'oeil: Les collections iconographiques et les bibliothèques: Actes du colloque organisé par la Section des bibliothèques d'art de l'IFLA Genève, 13-15 mars 1985. K.G.Saur, 1989, 348p. (IFLA publication 47, Edité par Huguette Rouit et Jean-Pierre Dubouloz Co-auteur) 執筆: Les moyens d'accès aux documents iconographiques à la Bibliothèque centrale de la Ville de Tokyo p.141-143.
- フランス図書館・情報ハンドブック. 日仏図書館学会, 1989, 85p. (日仏図書館研究シリーズ No.2, 日仏図書館学会編 共編著) 執筆: パリ 図書館・書店マップ p.55-81. (共著)
- フランス図書館関係用語集. 日仏図書館学会, 1990, 82p. (日仏図書館研究シリーズ No.3, 日仏図書館学会編 共編)
- 生涯学習時代における文化映像の製作・保管・活用に関する調査研究: 文部省科学研究費補助金 総合研究(A) 平成2年度中間報告書. 文化映像研究会科研共同研究グループ, 1991.3, 102p. (研究代表者: 島田外志夫 共著) 執筆: ビデオソフトの普及と図書館 p.37-39.
- 情報処理分野における新しいテクノロジーの地方公共団体への適用に関する調査研究. 地方自治情報センター, 1991.3, 192p. (共著) 執筆: 第3章3 美術品の検索とドキュメンテーション p.65-66, 第4章3 美術検索システムの構築 p.79-80.
- 日仏間における情報アクセスの現状と将来展望に関する基礎的研究: 日仏共同研究報告書. 日仏図書館情報学会, 1992.3, 220p. (日仏図書館情報学会日仏共同研究グループ編 研究代表) 執筆: 序論 p.7-16, 日仏間における画像資料へのアクセス p.57-109. (共著), 在パリ日本語資料所蔵機関案内 p.189-208. (共著), 総論 p.217-220.
- A la recherche de la mémoire le patrimoine culturel: Actes du colloque organisé par la Section des bibliothèques d'art de l'IFLA Paris, 16-19 août 1989. K.G.Saur, 1992, 329p. (IFLA publication 62, Edité par Huguette Rouit et Jean-Marcel Humbert Co-auteur) 執筆: Les collections photographiques au Japon: accessibilité et nouvelles technologies p.287-293.
- 画像ドキュメンテーション入門: 視聴覚教育の基礎. [慶応義塾大学テキスト] 波多野宏之, 1992, 98p.
- 画像ドキュメンテーションの世界. 勁草書房, 1993, 189p.
- Bibliotecas de arte, arquitectura y diseño: perspectivas actuales: Barcelona, 18-21 de agosto de 1993. Actas del Congreso organizado por la Sección de Bibliotecas de Arte de la IFLA et Grup de Bibliotecaris d'Art de Catalunya y el Museu Nacional d'Art de Catalunya. K.G.Saur, 1995, 441p. (IFLA publication 74, Edición a cargo de Ma Lluïsa Pons y Conxita Sangenis Co-author) 執筆: Image processing of iconographic materials in art documentation: recent development in Japan p.133-144.

- 美術分野の文献・画像資料所蔵機関一覧 1993年3月現在. アート・ドキュメンテーション研究会, 1995, 145p. (アート・ドキュメンテーション研究会調査委員会編 共編) 執筆: まえがき p.1.
- Nouvelles Alexandries : les grands chantiers de bibliothèques dans le monde. Paris, Cercle de la Librairie, 1996, 399p. (Sous la direction de Michel Melot Co-auteur avec Denis Bruckmann) 執筆 : Tokyo: Bibliothèque universitaire de Waseda p.380-399.
- The dictionary of art, Vol.24. London, Macmillan, 1996, 898p. (Edited by Jane Turner Co-author) 執筆 : Periodical III, 3(iii) Japan p.436-437.
- 美術館革命. 大日本印刷, 1997, 295p. (美術館メディア研究会編 共著) 執筆: ミュージアム・ドキュメンテーション・ネットワーク p.29-43.
- 次世代電子図書館システム研究開発事業: ユーザー委員会報告書. 日本情報処理開発協会, 1998.3, 251p. (共著) 執筆: 美術館・博物館グループにおける「あるべき姿と解決すべき課題」 p.233-251.
- 報告書 シンポジウム: フランスにおける美術情報の普及と専門教育. アート・ドキュメンテーション研究会, 1998.3, 81p. (アート・ドキュメンテーション研究会編 共編著) 執筆: 序 p.5, フランスにおける美術情報の普及と専門教育 p.11-23, パネルディスカッション (司会) p.69-81. (共著)
- 西洋美術研究支援画像データベースと画像処理: 欧米で開発された諸ツールのわが国における応用と作品研究. (平成6年度~平成9年度科学研究費補助金 基盤研究 (A) (2) 研究成果報告書). 国立西洋美術館, 1998.3, 99p. (研究代表者: 田邊幹之助 [平成6年度 波多野宏之] 共編著) 執筆: ICONCLASSとULAN: 画像分類とアーティスト名コントロール・システムの応用 p.53-63, The image processing and database system in the National Museum of Western Art, Tokyo: an integrated system for art research p.85-89. (Art libraries journal Vol.21, No.1, p.18-22の再録), 国立西洋美術館における西洋美術研究支援アプリケーションツールの評価: 画像分類、作家名ユニオンリストを応用した科研システムを中心に p.91-96. (情報処理学会研究報告 Vol.97, No.48 人文科学とコンピュータ 34-1, p.31-36の再録)
- 図書館資料利用論 I 印刷物からマルチメディアへ. 放送大学教育振興会, 1998, 105p. (放送大学教材) 新版 博物館学講座 11 博物館情報論. 雄山閣出版, 1999, 252p. (加藤有次等編 共著) 執筆: 博物館資料のデータベース化と活用 p.40-69, 美術館 p.233-248.
- 進化する映像: 影絵からマルチメディアへの民族学. 千里文化財団, 2000, 54p, CD-ROM 1枚. (大森康宏編著 共著) 執筆: 博物館と映像データベース p.48-49.
- 文化変容にかかわる民族誌映像資料の再検証. (平成10年度~平成12年度科学研究費補助金 (基盤研究(A)(2)研究成果報告書). [国立民族学博物館], 2001.3, 119p. (研究代表者: 大森康宏 共著) 執筆: ヨーロッパにおける映像情報資源: ネットワークと映像分析の研究 p.1-16.
- デジタル技術とミュージアム: 情報・機器展示、セミナーによる公開プログラム 展示解説. 国立西洋美術館, 2001, 36p. (編著)
- 変貌する美術館: 現代美術館学 II. 昭和堂, 2001, 252, xiip. (加藤哲弘等編 共著) 執筆: アート・ライブラリアン p.228-232.
- デジタル技術とミュージアム. 勉誠出版, 2002, 152p. (Science of humanity Vol.39 国立西洋美術館編 共編著) 執筆: はじめに p.2-3, ミュージアムとイコノテック p.4-6, 国立西洋美術館における画像利用: マイクロ資料と超高精細画像 p.110-116.
- 図書館情報学用語辞典. 第2版. 丸善, 2002, 273p. (日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編 共著) 執筆: アート・ドキュメンテーション研究会 p.3, 情報視覚化 p.103.

- ミュゼオロジー実践篇：ミュージアムの世界へ。武蔵野美術大学出版局，2003.4，195p. (岡部あおみ監修 共著) 執筆：情報論 p.147-170.
- 図書館・情報学研究入門。勁草書房，2005，226p. (三田図書館・情報学会編 共著) 執筆：アート・ドキュメンテーション p.125-128.
- 図書館情報学用語辞典。第3版。丸善，2007，286p. (日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編 共著) 執筆：アート・ドキュメンテーション学会 p.4，情報視覚化 p.108-109.
- 日仏学術交流のルネッサンス 報告論文集：日仏交流 150周年記念 日仏関連諸学会総合シンポジウム。日仏会館，2009.3，161p. (石堂常世等編 共著) 執筆：情報メディアの融合と図書館の将来：日仏比較の視点から p.141-145.
- Encyclopedia of library and information sciences. 3rd ed. CRC Press, 2010, 7 vols. (Bates, Marcia J. (Editor-in-chief) Co-author) 執筆：Japan: Libraries, archives and museums: Vol.4, p.3042-3059. (共著)
- フランス図書館の伝統と情報メディアの革新。勉誠出版，2011，262p. (日仏図書館情報学会編 編集代表) 執筆：はじめに p.i-ii，第11章1文化行政と博物館 p.121-125，フランス図書館関係と文文献目録累積版 p.153-206 (共編)，40年史年表 p.207-259 (共編)
- 東京外語 日新寮アーカイブズ。日新寮アーカイブズをつくる会，2013，64p, DVD 1枚. (日新寮アーカイブズをつくる会編 共編)

## 訳書

- 世界伝記大事典 世界編 6。ほるぷ出版，1980，508p. (桑原武夫編集代表 共訳/リライト) 執筆：デューイ，M p.360-361ほか.
- マクロッサン，ジョン・A. 編. アメリカにおける州の図書館振興行政：州図書館振興機関の機能と役割。全国公共図書館協議会，1980，103p. (NP研究シリーズ No.1. 都立中央図書館翻訳グループ訳 共訳) 執筆：第3章 ジュスヴィエーヴ・M・ケーシー. 図書館振興のための州及び連邦資金の運用 p.43-59.
- サロワ，ジャック. フランスの美術館・博物館。白水社，2003.10，169,xxvip. (文庫クセジュ 永尾信之との共訳)

## 論文

- 北の資料・北の人：北海道の図書館・博物館を訪ねて (各地の図書館活動：現状と問題点 シリーズ No.1). 館内報 (東京都立中央図書館). 1978.3.31, No.104, p.1-4.
- フランスにおける複写機器課徴金制度とその運用：Centre national des lettres の機能および公共図書館への国の資料収集費援助について。日仏図書館研究. 1981.3, No.7, p.43-53.
- 公読書 (lecture publique) をめぐって：『フランスの公共図書館』編集覚書。日仏図書館研究. 1982.6, No.8, p.56-62.
- フランスの図書館員たち：シャルル・ノディエ『Bulletin du bibliophile (愛書家雑誌)』150年の現在。ひびや (東京都立中央図書館報). 1986.3, 第135号, p.17-21.
- ポンピドーセンター公共情報図書館 B.P.I. のサービスと戦略 その1 総論・各論(1)。研究紀要 (東京都立中央図書館). 1986.3, 第17号 (昭和60年度), p.1-117.
- Documentation iconographique：フランスにおける美術・画像ドキュメンテーションの現状。日仏図書館研究. 1986.6, No.12, p.42-54.
- Le rôle de la Bibliothèque centrale dans le réseau de la Ville de Tokyo. 日仏図書館研究. 1986.6, No.12,



p.68-78.

フランスの私立公共図書館事情. 地方自治通信 (地方自治センター). 1986.9, No.202, p.21-25.

パリ市立図書館網の特質と参考事務. 会報 (東京都公立図書館参考事務連絡会). 1986.12, No.14, p.2-10.

ポンピドーセンター公共情報図書館 B.P.I. のサービスと戦略 その2 各論 (2). 研究紀要 (東京都立中央図書館). 1987.3, 第18号 (昭和61年度), p.1-64.

在パリ日本語資料所蔵機関案内 Guide des bibliothèques conservant le fonds japonais à Paris. 日仏図書館研究. 1987.8, No.13, p.37-58.

画像情報の蓄積と検索: 美術分野における応用 Part1. 書誌索引展望. 1987.11, 第11巻第4号, p.21-29.

画像情報の蓄積と検索: 美術分野における応用 Part2. 書誌索引展望. 1988.2, 第12巻第1号, p.1-11.

ポンピドーセンター公共情報図書館 B.P.I. のサービスと戦略 その3 各論 (3) アニマシオン 考察 ポンピドーセンターに関する和文文献目録 (稿). 研究紀要 (東京都立中央図書館). 1988.3, 第19号 (昭和62年度), p.1-92.

歴史からリアルタイムへ: フランス図書館の伝統と革新 (特集: 変貌する図書館 III 専門情報サービス). 現代の図書館. 1988.9, Vol.26, No.3, p.168-171.

都市の記憶: ビデオテック・ド・パリ (特集: CD・ビデオもっていますか). みんなの図書館. 1988.11, 138号, p.35-41.

イコノテックへの道: 画像索引と錦絵データベース. ひびや (東京都立中央図書館報). 1989.3, 第138号, p.1-17.

アート・ドキュメンテーションの現在: 国際化とインタープロフェッション. 現代の図書館. 1989.6, Vol.27, No.2, p.107-109.

画像ドキュメンテーションの条件. アート・ドキュメンテーション通信. 1989.7, 第2号, p.1.

メディアテックとコンピュータ. 情報処理学会研究報告. 1989.9, Vol.89, No.69, p.1-6.(人文科学とコンピュータ 2-4)

海外美術図書館員との接触の中から: IFLA パリ大会美術図書館分科会報告. アート・ドキュメンテーション通信. 1989.10, 第3号, p.2-4.

Photographic collections in Japan: accessibility and new technology. Art libraries journal. 1989, Vol.14, No.4, p.7-9.

図書館の国際交流と図書館員: IFLA パリ大会を機に考える (特集: 国際交流と図書館). ひびや (東京都立中央図書館報). 1990.3, 第139号, p.8-11.

Les collections photographiques au Japon: accessibilité et nouvelles technologies. 日仏図書館研究. 1990.9, No.16, p.47-52.

アート・ドキュメンテーションの提起するもの: 日本の現状から (特集: アート・ドキュメンテーション). 現代の図書館. 1990.12, Vol.28, No.4, p.198-204.

画像ドキュメンテーション入門 1 いま画像資料は. ウィークリー出版情報. 1990.7-5, No.417, p.50-51.

画像ドキュメンテーション入門 2 図書館からメディアテックへ. ウィークリー出版情報. 1990.8-4, No.421, p.37-39.

画像ドキュメンテーション入門 3 フォルネイ図書館: パリのイコノテック. ウィークリー出版情報. 1990.9-4, No.425, p.43-46.

画像ドキュメンテーション入門 4 美術作品の貸出とアルトテック. ウィークリー出版情報. 1990.10-4, No.429, p.52-55.

- 画像ドキュメンテーション入門 5 映像ライブラリーの将来. ウィークリー出版情報. 1990.11-4, No.434, p.37-40.
- 画像ドキュメンテーション入門 6 ハイビジョンの可能性. ウィークリー出版情報. 1990.12-4, No.438, p.57-60.
- 画像ドキュメンテーション入門 7 美術作品と写真・スライドライブラリー その1. ウィークリー出版情報. 1991.1-4, No.441, p.68-69.
- 画像ドキュメンテーション入門 8 美術作品と写真・スライドライブラリー その2. ウィークリー出版情報. 1991.2-4, No.446, p.56-57.
- 画像ドキュメンテーション入門 9 美術作品と写真・スライドライブラリー その3. ウィークリー出版情報. 1991.3-4, No.450, p.26-27.
- 画像ドキュメンテーション入門 10 美術作品と写真・スライドライブラリー その4. ウィークリー出版情報. 1991.4-4/5, No.454, p.4-5.
- 画像ドキュメンテーション入門 11 スtockフォトの現場 その1. ウィークリー出版情報. 1991.5-4, No. 458, p.4-6.
- 画像ドキュメンテーション入門 12 スtockフォトの現場 その2. ウィークリー出版情報. 1991.6-4, No. 462, p.4-8.
- 画像ドキュメンテーション入門 13 画像のメディア変換. ウィークリー出版情報. 1991.7-4, No.466, p.4-5.
- 画像ドキュメンテーション入門 14 画像データベースをつくる: パソコンと市販ソフトを利用して その1 個人データベースの試作とその条件. ウィークリー出版情報. 1991.8-4, No.470, p.4-6.
- 画像ドキュメンテーション入門 15 画像データベースをつくる: パソコンと市販ソフトを利用して その2 個人データベースの試作: その実際とシステムの評価. ウィークリー出版情報. 1991.9-4, No.474, p.5-10.
- 画像ドキュメンテーション入門 16 画像と都市: 1991.8 / ソ連・東欧の旅から その1 モスクワ. ウィークリー出版情報. 1991.10-4, No.478, p.4-7.
- 画像ドキュメンテーション入門 17 画像と都市: 1991.8 / ソ連・東欧の旅から その2 プラハ・ワルシャワ. ウィークリー出版情報. 1991. 11-4, No.483, p.4-7.
- 画像ドキュメンテーション入門 18 画像への主題アクセス: 画像データベースはどこまで可能か その1 画像の単位と記述の主体. ウィークリー出版情報. 1991.12-4/5, No. 487, p.4-6.
- 画像ドキュメンテーション入門 19 画像への主題アクセス: 画像データベースはどこまで可能か その2 目録規則・分類・件名・アクセスポイント. ウィークリー出版情報. 1992.1-4, No.491, p.4-8.
- 画像ドキュメンテーション入門 20 画像通信. ウィークリー出版情報. 1992.2-4, No.495, p.4-6.
- 戦車と図書館: 1991 IFLA モスクワ大会に参加して (海外の図書館活動). 専門図書館. 1991.11, No.136, p.23-28.
- フランスの写真を探す / フランスで写真を探す: 『フランス写真コレクション総覧』とデータベースICONOS をめぐって (例会・講演会の発表要旨および概要報告). 日仏美術学会会報. 1992.3, No.11, p.107-108.
- 海外美術図書館研究入門 1 ソ連・東欧の美術図書館. アート・ドキュメンテーション研究. 1992.3, No.1, p.41-48.
- 美術館ドキュメンテーション: 欧米の到達点と日本の課題 (特集: 美術館・博物館のドキュメンテーション). 情報の科学と技術. 1992.7, Vol.42, No.7, p.597-607.
- アート・ドキュメンテーションの現状と課題 その1 概況. びぶろす. 1993.1, Vol.44, No.1, p.3-8.
- ヨーロッパにおける画像ドキュメンテーションの現状と課題: 「文化財をどう蓄積するか」について国民

- 的合意を形成すべきだ (特集：ハイビジョンによる画像データベースの研究). NEW MEDIA.1993.2, 112号, p.26-27.
- 海外美術図書館研究入門 2 インドの美術図書館. アート・ドキュメンテーション研究. 1993.3, No.2, p.35-43.
- 画像データベースの現状と課題 (特集：画像・イメージ情報へのアクセス). 情報の科学と技術. 1993.7, Vol.43, No.7, p.594-601.
- 我国における画像データベース：研究開発の動向と課題. ハイビジョン画像データベース研究 岐阜会議 1993：フランス及び日本における美術品画像データベースの現状と今後の展望. 岐阜県・岐阜県美術館, 1993.9, p.71-79.
- 総括ディスカッション ハイビジョン画像データベース発展の課題を探る. 同上. p.80-96. (共著)
- イコノテックとしての美術館：フランスにおける画像情報の蓄積と伝達. 京都大学大型計算機センター 第42回研究セミナー報告. 京都大学大型計算機センター研究開発部, 1994.3, p.15-33.
- 海外美術図書館研究入門 3 スペインの美術図書館. アート・ドキュメンテーション研究. 1994.3, No.3, p.47-56.
- マルチメディア化するミュージアム. ARRANGEMENT アレンジメント (東和エンジニアリング). 1994.4, No.8, p.9-10.
- フランスの美術情報システム. 人文学と情報処理. 1994.5, No.4, p.52-56.
- アート・ドキュメンテーションの世界. 短期大学図書館研究 (私立短期大学図書館協議会). 1994.7, 第14号, p.91-98.
- 美術情報と図書館 (特集：私の図書館論—歴史・イメージ・現実). 現代の図書館. 1994.12, Vol.32, No.4, p.263-264.
- 画像ドキュメンテーションの新世界 1 画像ドキュメンテーションとは何か. 月刊 IM. 1994.4, 第33巻第4号, p.17-20.
- 画像ドキュメンテーションの新世界 2 美術館と画像. 月刊 IM. 1994.5, 第33巻第5号, p.15-18.
- 画像ドキュメンテーションの新世界 3 美術館における職能と画像情報. 月刊 IM. 1994.6, 第33巻第6号, p.43-46.
- 画像ドキュメンテーションの新世界 4 電子画像を見る：ロンドン・ナショナル・ギャラリー. 月刊 IM. 1994.7, 第33巻第7号, p.30-34.
- 画像ドキュメンテーションの新世界 5 美術研究と画像資料：ウィット・ライブラリー. 月刊 IM. 1994.9, 第33巻第9号, p.22-25.
- 画像ドキュメンテーションの新世界 6 美術情報の統合化へ向けて：ゲティ美術史・人文科学センター. 月刊 IM. 1994.11, 第33巻第11号, p.17-20.
- 画像ドキュメンテーションの新世界 7 視聴覚教育からマルチメディア・コミュニケーションへ. 月刊 IM. 1995.1, 第34巻第1号, p.30-33.
- 画像ドキュメンテーションの新世界 8 メディア・リテラシーと映画誕生 100年. 月刊 IM. 1995.3, 第34巻第3号, p.35-38.
- 画像ドキュメンテーションの新世界 9 画像のデジタル化と美術研究. 月刊 IM. 1995.5, 第34巻第5号, p.39-42.
- 画像ドキュメンテーションの新世界 10 美術研究支援ツールとしての CD-ROM. 月刊 IM. 1995.7, 第34巻第7号, p.35-38.

- 画像ドキュメンテーションの新世界 11 画像情報のプレゼンテーション. 月刊 IM. 1995.10, 第34巻第10号, p.20-23.
- 画像ドキュメンテーションの新世界 12 美術館における画像ドキュメンテーションの現段階. 月刊 IM. 1995.12, 第34巻第12号, p.24-26.
- アート・ドキュメンテーション研究会 5年間の活動の総括と専門職養成への提言. 第1回アート・ドキュメンテーション研究フォーラム: 美術情報と図書館 報告書. アート・ドキュメンテーション研究会, 1995.3, p.15-25.
- 西洋美術研究支援画像データベースと画像処理. 第4回メディア統合技術研究会 [予稿]. 画像電子学会, 1995.4, p.11-18.
- 海外美術図書館研究入門 4 ロンドンの美術図書館. アート・ドキュメンテーション研究. 1995.8, No.4, p.29-36.
- アート・ドキュメンテーションの現状と課題 その2 総括と展望. びぶろす. 1995.8, Vol.46, No.8, p.1-7.
- The image processing and database system in the National Museum of Western Art, Tokyo: an integrated system for art research. Art libraries journal. 1996, Vol.21, No.1, p.18-22.
- 欧米における文化財記録のシステム化とその政策. 第5回シンポジウム「美術館と画像データベース」事前配布資料. (全国美術館会議等主催) 1997.2.19, p.18-24.
- 美術研究支援情報資源の集中と分散: フランスにおける美術館・図書館・情報システムの特質をめぐって その1. 国立西洋美術館研究紀要. 1997.3, No.1, p.74-87.
- 美術館における部門別作品収集と情報管理の一元化: メトロポリタン美術館アントニオ・ラッティ・テキスタイル・センター. ファッションドキュメンテーション. 1997.3, No.6, p.32-37.
- 文化・芸術とデータベース. データベース白書 1997. データベース振興センター, 1997.3, p.176-180.
- 今を模索するキュレーターたちへ: 美術館のパラダイム・シフトはデータ・ネットワークにあり (インタビュー). ArtCom News (美術館メディア研究会). 1997.4, Vol.15, p.2-7.
- 国立西洋美術館における西洋美術研究支援アプリケーションツールの評価: 画像分類、作家名ユニオンリストを応用した科研システムを中心に. 情報処理学会研究報告. 1997.5, Vol.97, No.48, p.31-36. (人文科学とコンピュータ 34-6)
- 美術館活動の拡張と情報: 国立西洋美術館 (特集: マルチメディア時代の到来 電子博物館構想への第一歩). 文化庁月報. 1997.8, No.347, p.8-9.
- フランスにおける映像関連の施設と資料. 日仏図書館情報研究. 1997.9, No.23, p.89-93.
- 国立西洋美術館情報システム. 国立西洋美術館年報. 1997.11, No.31, p.21-23.
- 活動基盤の重層化とトータルな美術館をめざして (第63回 IFLA (コペンハーゲン) 大会報告 Part 2). びぶろす. 1998.1, Vol.49, No.1, p.6-8.
- 欧米における美術著作権問題とその周辺. 平成8年度 第12回学芸員研修会報告書 美術著作権と新しいメディア. 全国美術館会議, 1998.3, p.71-84.
- 全体討論. 同上, p.85-120. (共著)
- 電子図書館とそれ以前の問題: 電子博物館はどこへゆくドキュメンタリストの立場から (特集: 電子博物館構想). 人文学と情報処理. 1998.7, No.17, 65-66.
- 新たな「イコノテック」の形成へ向けて: 美術館・博物館の考える電子図書館. 人文学と情報処理 別冊 1 電子図書館はどうなる. 1999.1, p.101-110.
- デジタルミュージアムへの道. 科学 EYES (神奈川県立川崎図書館). 1999.11, 第41巻第1号, p.1-11.

- 国立西洋美術館情報資料センター（仮称）の目指す ars. Ars の現場とツールの諸相 II. アート・ドキュメンテーション研究会, 2000.3, p.77.1-77.10.
- アート・ドキュメンテーション研究会 10 年の総括. 第 2 回アート・ドキュメンテーション研究フォーラム 美術情報の明日を考える 報告書. アート・ドキュメンテーション研究会, 2000.3, p.7-15.
- アート・ドキュメンテーションの可能性（パネルディスカッション）. 同上. p.135-157.（共著）
- 超高精細モニタによる作品画像の最適視認距離についての研究. 国立西洋美術館研究紀要. 2001.3, No.5, p.57-70.（共著）
- 国立西洋美術館における作品画像のデジタル化と今後の課題：デジタルギャラリーを中心に. デジタルアーカイブ白書 2001. デジタルアーカイブ推進協議会, 2001, p.152-153.
- 映像技術の発展とミュージアム（特集 2 美術館・博物館のデジタル化）. 映像情報 industrial. 2002.2, 第 34 巻 2 号, p.65-68.
- デジタルアーカイブの光と影：画像の複製・保存・活用を中心に（第 11 分科会 デジタルアーカイブと資料保存：デジタル技術の可能性を探る）. 平成 13 年度（第 87 回）全国図書館大会記録・岐阜 2001 年・岐阜・図書館の旅：IT 時代の図書館像を考える. 全国図書館大会実行委員会, 2002.3, p.265-273.
- 小企画展 デジタル技術とミュージアム情報・機器展示、セミナーによる公開プログラム（展覧会）. 国立西洋美術館年報. 2003.1, No.36, p.24-27.
- 『パリのアートライブラリー』の試み. 国立民族学博物館調査報告. 2003.2, 35, p.57-63.（テキストおよび電子ファイル）
- 文化情報資源の蓄積・公開の系譜とデジタル化. 月刊ミュゼ. 2003.9, Vol.60, p.18-20.
- 巨人の肩に乗って・・・日本図書館情報学会と専門領域の学会・研究会. 日本図書館情報学会創立 50 周年記念誌. 2003.10, p.67-69.
- 美術館における情報専門職制の枠組みの形成に向けて（アート・ドキュメンテーション研究会第 42 回報告：美術館・博物館、文書館の情報専門職の開発と養成：現状と課題）. アート・ドキュメンテーション研究. 2004.3, No.11, p.122-127.
- パネルディスカッション. 同上. p.127-139.（共著）
- 美術館における情報マネジメント：戦略の確立と実践および阻害要因. ミュージアム・マネージメント・フォーラム 2004: 21 世紀のミュージアムと情報戦略. 日本ミュージアム・マネージメント学会, 2005.2, p.57-63.
- パネルディスカッション. 同上. p.64-81.（共著）
- アート・アーカイブズ：その発生プロセスと記録管理. 日藝アート・アーカイブを考える：日藝アート・アーカイブシンポジウム報告書. 「アート・アーカイブ構築に向けての基礎研究」研究会, 2005.3, p.5-7.
- 変化する図書館・博物館と文化メディアエーション. 駿河台大学資格課程年報. 2005.6, 第 5 号, p.5-6.
- 文化情報学再構築のために：メディアシオンの機能を考える（文化情報学研究所・2004 年度定例研究会報告）. 駿河台大学文化情報学研究所 所報. 2006.3, 第 5 号, p.103-121.
- 美術館における情報専門職制の枠組みの形成に向けて（美術館・博物館、文書館における情報専門職の開発と養成：現状と課題）. 情報専門職の養成に向けた図書館情報学教育体制の再構築に関する総合的研究（平成 15 年度～平成 17 年度科学研究費補助金 基盤研究（A）研究成果報告書）.（研究代表者：上田脩一）2006.3, p.180-182.
- パネルディスカッション「美術館・博物館、文書館における情報専門職の開発と養成」. 同上. p.183-189.（共著）



- アート・ドキュメンテーションの専門職能とデジタル・アーカイブズ：教育・研修に向けて（特集：[日本アーカイブズ学会] 2006年度大会：「シンポジウム アーカイブズ専門職の未来を拓く」. アーカイブズ学研究. 2006.11, 第5号, p.66-73.
- 図書館と文学：評伝 小林宏 その1. 日仏図書館情報研究. 2006.12, No.32, p.1-10.
- アート・ドキュメンテーションの教育と研修：大学院レベルでの現職研修の可能性を求めて. 発現するドキュメンテーション：アート・ドキュメンテーション学会 2007年度年次大会 [第54回研究会] 予稿集. 2007.6, p.28-30.
- ポンピドーセンターとBPIの30年を読み解くために（特集：BPIセミナー ポンピドーセンター公共情報図書館（BPI）のもたらしたもの：30年の軌跡と日本）. 日仏図書館情報研究. 2007.12, No.33, p.5-13.
- 質疑応答（特集 BPI セミナー）. 同上. p.28-33.（共著）
- 展示会：刊行物に見るポンピドーセンターとBPI：関係文献・図書目録. 日仏図書館情報研究. No.33, 2007.12, p.36-43.（展示会風景 p.34-35）
- MLAの融合と情報専門職：ミュージアム、ライブラリー、アーカイブズの未来（特集：第3回駿河台大学現代情報文化研究科シンポジウム「文化情報資源の蓄積・活用と法」）. 駿河台大学文化情報学研究所所報. 2008.10, 第7号（2007年度）, p.51-60.
- 文化情報学とアート・ドキュメンテーションの教育（1） 駿河台大学・波多野ゼミ（教育の現場3）. アート・ドキュメンテーション通信. 2009.4, 第81号, p.11-12.
- アート・アーカイブズ：その発生プロセスと記録管理. 「デジタルミュージアム研究プロジェクト」報告書. 日本大学総合学術情報センター, 2010.3, p.205-207.
- 文化情報学部におけるアーカイブズ分野の専攻科目（文化情報学部終了にあたって）. 文化情報学：駿河台大学文化情報学部紀要. 2011.12, 第18巻第2号, p.79-81.
- これからの豊北と郷土遺産. 和海藻（にぎめ）：豊北の歴史文化誌. 2012.3, 第27号, p.47-51.
- ふるさと再生へ：豊北・東京往復メール. 和海藻（にぎめ）：豊北の歴史文化誌. 2012.3, 第27号, p.52-57.（岡崎新太郎との共著）
- コレクションからミュージアムへ：蒐集することの意味（公開シンポジウム 図書館学・博物館学・文書館学・記録情報学を総合的に学ぶ デジタル時代の情報管理を身に付けるために）. 駿河台大学文化情報学研究所 所報. 2013.3, 第9号（2012年度）, p.87-96.
- 討論. 同上. p.97-102.（共著）
- Saving Japanese cultural assets and information (Viewpoint) . Art libraries journal. 2013, Vol.38, No.2 (Special issue: Art documentation in Japan), p.4-5.
- アルトテークとは何か：仏独に見る美術作品貸出ギャラリーとその我が国への移植の可能性. メディアと情報資源：駿河台大学メディア情報学部紀要. 2015.3, 第21巻第2号, p.49-54.

## その他の記事

- 行政全般から正しい目標設定を（今回のテーマ 図書館を考える）. 広報たちかわ. 1977.11.1, No.430, p.4.
- 風通しをよくしよう. 図書館雑誌. 1978.3, Vol.72, No.3, p.120-122.
- あとがきにかえて（特集：70周年に思う）. 館内報（東京都立中央図書館）. 1979.3.10, No.110, p.6.
- 編集手帳. 図書館雑誌. 1979.11, Vol.73, No.11, p.632；1980.6, Vol.74, No.6, p.304；1981.2, Vol.75, No.2, p.96；1981.8, Vol.75, No.8, p.536；1982.6, Vol.76, No.6, p.376；1983.5, Vol.77, No.5, p.316.
- <フランス図書館研究グループ>の活動について. 日仏図書館研究. 1980.3, No.6, p.41-42.

図書館法案を準備中（フランス）. 図書館雑誌. 1980.4, Vol.74, No.4, p.150-151.

特集にあたって（特集：町村立図書館の発展のために）. 図書館雑誌. 1981.10, Vol.75, No.10, p.614.

レファレンスの事例を大切に：特集にあたって（特集：レファレンスの事例とその活用）. 図書館雑誌. 1982.5, Vol.76, No.5, p.257.

座談会・区立図書館の実践：大田・世田谷にきく. 図書館雑誌. 1982.5, Vol.76, No.5, p.258-263.（共著）

教科書をめぐる公共図書館の動き（特集：8月によせて・図書館のもう一つの役割を考える）. 図書館雑誌. 1982.8, Vol.76, No.8, p.460-461.

図書館行政と図書館専門職員の責務：特集にあたって（特集：図書館未設置解消のために）. 図書館雑誌. 1982.10, Vol.76, No.10, p.639.

ライブラリアンクラブの10周年. 図書館雑誌. 1983.2, Vol.77, No.2, p.66-67.

ぼんぴどーでも人減らし：中央図書館の質の維持こそ！！. 分会ニュース（教育庁支部日比谷分会）. 1985.2.2, 1985年度 No.13, p2.

from 巴里 Centre Georges Pompidou. フェーマス（講談社 フェーマス スクールズ）. 1985.3, 第18巻第3号, p.20.

from 巴里 Beaubourg Graffiti ボーブル・グラフィティ. フェーマス. 1985.4, 第18巻第4号, p.21.

from 巴里 Paris Collage et décollage コラージュ, デコラージュ/山田正好：胎児 YAMADA の旅路. フェーマス. 1985.7, 第18巻第7号, p.6-7.

from 巴里 De Beaubourg à la Villette ボーブルからヴィレットへ：ヴィレット公園の新博物館. フェーマス. 1985.10, 第18巻第10号, p.5.

from 巴里 Des yeux au bout des doigts 指先の眼：盲児用レリーフ絵本. フェーマス. 1985.12, 第18巻第12号, p.8.

ミュルーズの染織美術館 壁紙美術館：アルザスの宝. フェーマス. 1986.2, 第19巻第2号, p.20-21.

IFLA への参画の確実な一步を：特集にあたって（特集：IFLA の組織とその活動）. 図書館年鑑 1986. 1986, p.225.

Paris in the 1980s：首都のグラン・プロジェ. フェーマス. 1987.7, 第20巻第7号, p.1-3.

フランス文学研究文献センターの実現に向けて：杉捷夫会長にきく. 日仏図書館研究. 1988.8, No.14, p.1-4.

ジュネーヴ～アムステルダム～フィレンツェ：IFLA 美術図書館分科会ヨーロッパ集会のこと. 図書館雑誌. 1988.10, Vol.82, No.10, p.649.

アート・ドキュメンテーション研究会が発足：『通信』第1号を刊行. 図書館雑誌. 1989.6, Vol.83, No.6, p.310.

日仏図書館学会が『フランス図書館・情報ハンドブック』を刊行. 図書館雑誌. 1989.7, Vol.83, No.7, p.364-365.

フランス・ポンピドーセンター公共情報図書館長ミシェル・ムロ氏の来日講演. 図書館雑誌. 1989.12, Vol.83, No.12, p.751.

無知と十字架. 紫荊（はなずおう）：塚原信之さんを偲んで. 「紫荊」編集委員会, 1989, p.29-30.

ミシェル・ムロ氏講演 フランスにおける画像ドキュメンテーションとニューメディア. Nouvelles：日仏会館・日仏協会通信. 1990.3, No.49, p.4.

第1回総会を終えて. アート・ドキュメンテーション通信. 1990.7, No.6, p.1.

アート・ドキュメンテーション研究会第1回総会開かる. 図書館雑誌. 1990.8, Vol.84, No.8, p.470.

「日仏共同研究」が始動. 日仏図書館学会ニュースレター. 1990.9, No.101, p.2.

- 収集・保存からネットワークへ：諸外国の美術図書館／情報センター．新美術新聞．1991.1.1/11, No.591, 第2部 p.8.
- ニューメディアがひらく「私」空想美術館．新美術新聞．1991.3.1, No.596, 第3部パピエ p.9.
- 美術情報と「企業の文化交流支援」(キーパーソン・レポート 文化交流)．CORRIDOR．1991.3, p.13.
- リュス＝マリ・アルビジュス女史講演 フランスの図書館・美術館における画像通信．Nouvelles：日仏会館・日仏協会通信．1991.3, No.54, p.6.
- 新しい活動のフィールド：発足3年目を迎えて．アート・ドキュメンテーション通信．1991.4, No.9, p.1.
- 映像としての図書館：日本も参加した国際図書館ビデオ・フェスティバル．図書館雑誌．1991.6, Vol.85, No.6, p.358.
- 編集後記 [特集：遡及入力と資料提供]．現代の図書館．1991.6, Vol.29, No.2, p.135.
- 「日仏共同研究」からのお知らせ：第2年度の助成、採択される．日仏図書館情報学会ニュースレター．1991.7, No.105, p.2.
- アート「ドキュメンテーション」は難解か・・・：第2回総会の論議から論文誌の成功へ．アート・ドキュメンテーション通信．1991.7, No.10, p.1-2.
- IFLA モスクワ大会レポート その1．日仏図書館情報学会ニュースレター．1991.9, No.106, p.3；その2．1991.10, No.107, p.3；その3．1991.12, No.109, p.7-8.
- ソ連政変のなかの美術図書館：IFLA モスクワ大会美術図書館分科会報告．アート・ドキュメンテーション通信．1991.10, 第11号, p.5-6.
- 編集後記 NOTE DU REDACTEUR．日仏図書館情報学会ニュースレター．1991.9, No.106, p.8；1991.10, No.107, p.8；1991.11, No.108, p.8；1991.12, No.109, p.8；1992.1, No.110, p.8；1992.2, No.111, p.12；1992.3, No.112, p.8；1992.4, No.113, p.6；1992.5, No.114, p.8；1992.6, No.115, p.12；1992.7, No.116, p.12.
- 編集後記．日仏図書館情報学会ニュースレター．1993.4, No.124, p.8；1993.5, No.125, p.6；1993.6, No.126, p.10；1994.3, No.133, p.4.
- 都立中央図書館フランス図書館・情報学関係欧文新着資料紹介 1．日仏図書館情報学会ニュースレター．1992.2, No.111, p.10；2．1992.6, No.115, p.12；3．1992.9, No.117, p.12.
- モスクワ1991年8月：クーデターと図書館．Nouvelles：日仏会館・日仏協会通信．1992.3, No.59, p.5.
- 創刊にあたって．アート・ドキュメンテーション研究．1992.3, No.1, p. [4] .
- 「研究」から「要覧」へ：発足4年目にあたって．アート・ドキュメンテーション通信．1992.4, 第13号, p.1.
- 中・長期的な展望を：第3回総会後の課題．アート・ドキュメンテーション通信．1992.7, 第14号, p.1.
- 動きだすアジアの美術図書館：IFLA ニューデリー大会美術図書館分科会報告．アート・ドキュメンテーション通信．1992.10, 第15号, p.1-2.
- 西美“せいび”より (シリーズあの人は今・・・3 西洋美術館の巻)．分会ニュース (教育庁支部日比谷分会)．1993.3.10, 1993年度 No.9, p.2.
- アート・ドキュメンテーション研究会 (図書館情報学会内<Activity - 活動>)．国立国会図書館月報．1993.3, 384号, p.30-31.
- 実り多かった一年．アート・ドキュメンテーション通信．1993.4, 第17号, p.1.
- Art documentation：波多野宏之さんに聞く．[インタビュー] Contemporary artists review．1993.5, No.9, p.26-27.
- 5周年を前に 真価が問われる：第4回総会を終えて．アート・ドキュメンテーション通信．1993.7, 第18号, p.1.

- アート・ドキュメンテーション研究会における〈美術研究と情報処理〉. 人文学と情報処理. 1993.9, 第2号, p.95-97.
- IFLA (国際図書館連盟) バルセロナ大会美術図書館分科会常任委員会報告. アート・ドキュメンテーション通信, 1993.10, 第19号, p.10.
- IFLA 美術図書館分科会ニュースレターの配布について. アート・ドキュメンテーション通信. 1994.1, 第20号, p.16.
- 新しい教育環境の創造を: 視聴覚教材に関連して (文部省の調査・通知を読む). 学校図書館. 1994.1, 第519号, p.48-49.
- ヤン・ファン・デル・ワテレン氏来日の意義. アート・ドキュメンテーション研究. 1994.3, No.3, p.27-29.
- アート・ドキュメンテーション研究会 (研究ネットワーク 15). リベルス Libellus (柏書房). 1994.4, 第14号, p.40-41.
- 創立5周年の節目に: 総会 (6月・京都) と記念フォーラム (11月・東京) の成功を. アート・ドキュメンテーション通信. 1994.4, 第21号, p.1.
- 第1回研究フォーラムへ向けて: 第5回総会後の課題. アート・ドキュメンテーション通信. 1994.7, 第22号, p.1.
- 「CD-ROM」版 Micro Gallery (INFOSTA Forum 第46回). 情報の科学と技術. 1994.9, Vol.44, No.9, p.526.
- フォーラムを前にして. アート・ドキュメンテーション通信. 1994.10, 第23号, p.1.
- ARLIS/UK & Ireland 1994: 英国の美術図書館と画像データベースの現況. アート・ドキュメンテーション通信. 1994.10, 第23号, p.15-16.
- フォーラム開催にあたって. 第1回アート・ドキュメンテーション研究フォーラム 美術情報と図書館 発表要旨/展示目録. アート・ドキュメンテーション研究会, 1994.11, p.3.
- フォーラムを終えて. アート・ドキュメンテーション通信. 1995.1, 第24号, p.1.
- わたしの映像論 (300字提言 斯界有識者による). ユニ通信. 1995.3, 4000号記念特集号, p.51.
- 序. 第1回アート・ドキュメンテーション研究フォーラム 美術情報と図書館 報告書. アート・ドキュメンテーション研究会, 1995.3, p. [3]
- フォーラム開催にあたって. アート・ドキュメンテーション研究フォーラム 美術情報と図書館 報告書. アート・ドキュメンテーション研究会, 1995.3, p. [7].
- JADSの社会的役割と組織のリフレッシュ. アート・ドキュメンテーション通信. 1995.4, 第25号, p.1.
- 多くの方々のご支援でJADS7年目. アート・ドキュメンテーション通信. 1995.7, 第26号, p.1.
- サブデルク・ハヌム美術館でのワークショップ: IFLA イスタンブール大会・美術図書館分科会報告 (小特集2 IFLA イスタンブール大会レポート). 図書館雑誌. 1995.12, Vol.89, No.12, p.991.
- IFLA 北京大会美術図書館分科会 SC ミーティング. アート・ドキュメンテーション通信. 1996.10, 第31号, p.2.
- ヨーロッパ精神史を巡って: フランスのヴァールブルク学派とエラノス学派のことなど: シリーズ 新図書室を知る 第5回講演会 彌永信美氏の講演から. 図書室便り (日仏会館図書室). 1997 新春, p.1-2. Nouvelles: 日仏会館 日仏協会 通信, 1997.3, No.83, p.6 に再録.
- 第5回「美術館と画像データベース」画像情報ネットワーク化の課題で討論. ザ ハイビジョン ミュージアム: ハイビジョン・ミュージアム推進協議会会報. 1997.3, 71号, p.4-12. (共著)
- パネルディスカッション「画像情報ネットワーク化の課題」. 映像情報. 1997.4, 第29巻第7号, p.18-41. (共著)

- 研修体制の整備と JADS：総会への誘い. アート・ドキュメンテーション通信. 1997.4, 第 33 号, p.2.  
Activities of JADS in the age of multi-media. JADS information. 1997.6, No.2, p.1.  
第 8 回 (1997 年度) 総会報告／会長に就任して. アート・ドキュメンテーション通信. 1997.7, 第 34 号, p.2.  
IFLA コペンハーゲン大会美術図書館分科会 SC ミーティング. アート・ドキュメンテーション通信.  
1997.10, 第 35 号, p.2.  
ヴィオー女史を悼む. アート・ドキュメンテーション通信. 1999.1, 第 40 号, p.11.  
検証 1989-1999：10 周年記念第 2 回研究フォーラムと年次大会への誘い. アート・ドキュメンテーション通信. 1999.4, 第 41 号, p.2.  
デジタルギャラリーと資料コーナーを開設：国立西洋美術館. アート・ドキュメンテーション通信.  
1999.7, 第 42 号, p.22.  
第 2 回研究フォーラムを目前にして. アート・ドキュメンテーション通信. 1999.10, 第 43 号, p.2.  
パネル・ディスカッション アート・ドキュメンテーションの可能性. 第 2 回アート・ドキュメンテーション研究フォーラム 美術情報の明日を考える 報告書. アート・ドキュメンテーション研究会, 2000.3, p.135-157. (共著)  
JADS 中期計画の策定について. アート・ドキュメンテーション通信. 2001.1, 第 48 号, p.2.  
公開プログラム「デジタル技術とミュージアム」を開催して. 博物館研究. 2002.2, Vol.37, No.2, p.23-24.  
アート・ドキュメンテーション研究会第 17 回研究会講演会報告 市民社会とアート・ドキュメンテーション活動 第 2 部座談会. アート・ドキュメンテーション研究. 2003.3, No.10, p.77-91. (共著)  
メディアシオン [媒介作用]：文化情報の担い手と社会. [講演会レジュメ] 日仏会館図書室友の会通信. 2004.6, 第 8 号, p.8-9.  
日仏会館図書室縮小問題の顛末. 日仏会館図書室友の会通信. 2004.6, 第 8 号, p.9-10.  
「解説」にかえて. 図書館・日仏の出会い. (小林宏著). 日仏図書館情報学会 (日本図書館協会発売), 2004.6, p.227-230.  
東アジアにおける美術図書館の現状と相互協力の可能性 パネルディスカッション. [司会] 国際シンポジウム 東アジアにおける美術・文化財情報のネットワーク化を考える 報告書. アート・ドキュメンテーション研究会, 2005.1, p.65-75. (共著)  
第三世代のアート・ドキュメンテーション. アート・ドキュメンテーション通信. 2005.4, 第 65 号, p.7.  
福原義春氏に聞く (シリーズ『トップの眼』第 1 回). アート・ドキュメンテーション通信. 2005.4, 第 65 号, p.21-23. (共著)  
第三世代のアート・ドキュメンテーション. アート・ドキュメンテーション学会第 16 回 (2005 年度) 年次大会 第三世代のアート・ドキュメンテーション：その目的・技術・専門性を考える 予稿集. 2005.6, p.2-3.  
カトリシズムとプロテスタントイズム：企業家精神から見たフランス・ドイツ比較 (吉森賢氏講演会報告). 日仏会館図書室友の会通信. 2005.6, 第 9 号, p.7.  
日本が国際的に開けた国になるには? (箱山富美子氏講演会報告). 日仏会館図書室友の会通信. 2005.6, 第 9 号, p.10.  
第 16 回 (2005 年度) 年次大会を終えて. アート・ドキュメンテーション通信. 2005.7, 第 66 号, p.12.  
教育・研修 SIG の発足と参加のご案内. アート・ドキュメンテーション通信. 2005.7, 第 66 号, p.14.  
北川フラム氏に聞く (シリーズ『トップの眼』第 2 回). アート・ドキュメンテーション通信. 2006.1, 第 68 号, p.2-5. (共著)



- 田島 宏先生. LE TEMPS PASSE…西ヶ原・仏蘭西語事はじめ：東京外国語大学田島宏先生追悼文集. 2006.2, p.117-118.
- 編者あとがき. 図書館の秋・雨だれの歌. (小林宏著). アイアールディー企画 (日本図書館協会発売), 2006.3, p.367-371.
- 「古写真」研究の魅力 (吉田成氏講演会報告). 日仏会館図書室友の会通信. 2006.5, 第 10 号, p.9-10.
- 遠山記念館を訪ねて (実習館訪問) 駿河台大学資格課程年報. 2006.6, 第 6 号, p.50-51.
- アート・ドキュメンテーション：波多野宏之ゼミナール (SELECTED SEMINAR 27). 駿河台大学 NEWS. 2006.7, 第 110 号, p.4.
- 高橋晴子氏の第 8 回図書館サポートフォーラム賞受賞を祝す. アート・ドキュメンテーション通信. 2006.7, 第 70 号, p.30.
- 謝辞. 文化情報学：駿河台大学文化情報学部紀要 (戸田光昭教授・柴山森二郎教授退職記念号). 2006. 12, 第 13 巻第 2 号, p.1.
- セミナー開催にあたって (特集 BPI セミナー). 日仏図書館情報研究. 2007.12, No.33, p.4.
- 「ベシエールさんとの懇談会」報告. 日仏図書館情報学会ニュースレター. 2008.1, No.182, p.6.
- 教育・研修 SIG の解散について. アート・ドキュメンテーション通信. 2008.7, 第 78 号, p.10.
- 友の会解散にあたって：経過報告. 日仏会館図書室友の会通信. 2009.3, 第 12 (最終) 号, p.1. (共著)
- 1921 年のフランス同好会 (小林茂氏講演会報告). 日仏会館図書室友の会通信. 2009.3, 第 12 (最終) 号, p.8-9.
- 自由な検討の精神 (副学長から卒業生へのメッセージ). 駿河台大学 NEWS. 2009.3, 第 131 号, p.1.
- 日仏会館図書室友の会、解散 講演会等の活動は学会で継承へ. 日仏図書館情報学会ニュースレター. 2009.4, No.187, p.3-4.
- 40 周年を迎えるにあたって. 日仏図書館情報学会ニュースレター. 2009.7, No.188, p.2.
- JADS 最初の 10 年 (第 5 部シンポジウム). アート・ドキュメンテーション学会創立 20 周年記念 第 4 回アート・ドキュメンテーション研究フォーラム 日本のアート・ドキュメンテーション 20 年の達成：MLA 連携の現状、課題、そして将来 予稿集+資料集. 2009.12, p.45.
- 日露野先生を偲ぶ. 日露野さん. 『日露野さん』刊行委員会, 2010.3, p.18-19.
- 学会 40 周年と 2010 年度総会へのお誘い. 日仏図書館情報学会ニュースレター. 2010.4, No.191, p.2.
- 40 周年記念行事アルベール・ボワロ氏の招聘とシンポジウムテーマ「図書館情報学におけるフランス、ヨーロッパの貢献」を決定. 日仏図書館情報学会ニュースレター. 2010.7, No.192, p.2-3.
- 「図書館情報学におけるフランス、ヨーロッパの貢献」：40 周年記念シンポジウムへのお誘い. 日仏図書館情報学会ニュースレター. 2010.9, No.193, p.2.
- ビブリオテックのこと (副学長から卒業生へのメッセージ). 駿河台大学 NEWS. 2011.3, 第 147 号, p.1.
- 40 周年記念事業を終えるにあたって. 日仏図書館情報学会ニュースレター. 2011.4, No.195, p.2.
- 図書館情報学におけるフランス、ヨーロッパの貢献：公共性・建築・インターネットの将来：開会挨拶 (特集：日仏図書館情報学会 40 周年記念シンポジウム). 日仏図書館情報研究. 2011.8, No.36, p.3.
- パネル・ディスカッション インタロダクション. 同上. p.37-38.
- 討議. 同上. p.67-73. (共著)
- 追悼 戸田光昭先生. アート・ドキュメンテーション通信. 2011.8, 第 90 号, p.19-20.
- アートテークとは何か：仏独に見る美術作品貸出ギャラリー (文化情報学研究所 2014 年度報告 第 4 回研究会). メディアと情報資源：駿河台大学メディア情報学部紀要. 2015.3, 第 21 巻第 2 号, p.58.

メディア・アート論について (文化情報学研究所 2015 年度報告 研究会報告). メディアと情報資源: 駿河台大学メディア情報学部紀要. 2016.3, 第22巻第2号, p.79.

芸術・文化の愉しみと伝達 (定年退職教員からのメッセージ). 駿河台大学 NEWS. 2016.3, No.186, p.2.

### 書評・紹介

『無意識の構造』河合隼雄著 中央公論社 (本といっしょに). 学校事務. 1978.1, 第29巻第1号, p.156-158.

『年代を測る: 放射性炭素法』木越邦彦著 中央公論社 (本といっしょに). 学校事務. 1978.5, 第29巻第6号, p.116-118.

資料 町村立図書館の設置促進をめぐる: 文献紹介 (特集: 町村立図書館の発展のために). 図書館雑誌. 1981.10, Vol.75, No.10, p.636-637.

大きな展望開く: 人を得て活動の記録綿密に (二人書評 “町村図書館のモデル” を読む 図書館問題研究会編著『まちの図書館』). 図書新聞. 1981.11.14, 第278号, p.6.

自治体の文化行政: イタリアの新たな挑戦 カルラ・ボード著 佐藤一子、諏訪玲子訳 三省堂 1986 (書評). 図書館雑誌. 1987.1, Vol.81, No.1, p.44.

カナダ多文化主義教育に関する学際的研究 関口礼子編著 東洋館出版社 1988.2 (図書館員の本棚). 図書館雑誌. 1988.7, Vol.82, No.7, p.428.

「人文科学データベース研究」創刊号 (人文科学データベース研究会編・発行 同朋舎出版発売 1988.06). 情報の科学と技術. 1988.12, 38巻12号, p.674.

アート・ドキュメンテーション関係主要文献解題 (特集: アート・ドキュメンテーション). 現代の図書館. 1990.12, Vol.28, No.4, p.243-253. (アート・ドキュメンテーション研究会 [編] 共編著)

アート・ドキュメンテーション (50号記念特集: 文献紹介43). Library and Information Science. 2005.2, No.50, p.47.

### 翻訳論文・記事

フランスの図書館: 研究と余暇の楽しみ. 日仏図書館研究. 1977.12, No.4, p.16-21. (共訳)

フランスの公共図書館. 全国公共図書館協議会, 1981.3, 59p. (NP 参考資料) 執筆: フランス公共図書館法案 p.6-16, 市町村立図書館の資料, 運営及び施設に関する基準 (1975年) p.17-25, フランスの公共図書館統計 p.27-40.

リヒター, ノエ. 公読書 (lecture publique) の歴史・序説. 現代の図書館. 1983.6, Vol.21, No.2, p.111-124.

ムロ, ミシェル. フランスにおける画像ドキュメンテーションとニューメディア. 日仏図書館研究.

1990.9, No.16, p.3-8.

アルビジェス, リュス＝マリ. アート・ドキュメンテーション研究会第3回講演会 フランスの美術館・図書館における画像通信. アート・ドキュメンテーション研究. 1992.3, No.1, p.79-88.

パスコン, ジャン＝ルイ. フランスにおける美術品の画像データベースの現状と将来. 情報管理. 1994.2, Vol.36, No.11, p.999-1011.

ラアニエ, C 他. NARCISSE: 絵画研究のための高精細画像の利用. 情報管理. 1997.4, Vol.40, No.1, p.38-53. (飯野修身との共訳)

スタール, ヤン・ファン・デル. 巨人の肩に乗って・・・: オンライン美術史情報: Van Eyck システム その他のアプローチ (アート・ドキュメンテーション研究会第13回講演会報告). アート・ドキュメンテーション研究. 2000.7, No.8, p.22-41. (飯野修身との共訳)

## 電子出版

博物館・美術館におけるメディア活用法. メディア教育開発センター, 1999, CD-ROM 1 枚. (アドバイザー  
ジングおよび解説)

[東京外語 日新寮アーカイブズ. 日新寮アーカイブズをつくる会, 2013, 64p, DVD 1 枚. (日新寮アーカ  
イブズをつくる会編 共編)]

## 海外および国際会議等における発表

Les moyens d' accès aux documents iconographiques à la Bibliothèque centrale de la Ville de Tokyo .  
Colloque organisé par la Section des bibliothèques d' art de l' IFLA, Genève, 13-15 mars 1985.

Le rôle de la Bibliothèque centrale dans le réseau de la Ville de Tokyo. Conférence faite devant les  
bibliothécaires de la Ville de Paris à la Bibliothèque Buffon, le 20 juin 1985.

Les collections photographiques au Japon; accessibilité et nouvelles technologies. Section des  
bibliothèques d' art, 55e Conseil et Conférence générale de l' IFLA, Paris, 19-26 août 1989.

Image processing of iconographic materials in art documentation: recent development in Japan. Satellite  
Meeting of Section of Art Libraries, 59th IFLA Council and General Conference, Barcelona, 18-21  
August 1993.

Visual resources in Japan :recent development of art documentation and the role of Japan Art  
Documentation Society. 47th FID Conference and Congress, Omiya, 5-8 October 1994.

The image processing and database system in the National Museum of Western Art, Tokyo: an  
integrated system for art research. Section of Art Libraries , 61st IFLA Council and General  
Conference, Istanbul, 20-26 August 1995 .

## 展示

デジタル技術とミュージアム：情報・機器展示、セミナーによる公開プログラム. 国立西洋美術館,  
2001.11.13-12.2. (企画・構成)

ルイ・クレットマン写真コレクション展：フランス士官が見た近代日本のあけぼの. 駿河台大学メデ  
ィアセンター, 2006.12.4-21. (企画・構成)

展示会：刊行物に見るポンピドーセンターと BPI. 日仏会館図書室, 2007.10.22－11.1 (日仏図書館情  
報学会主催 企画・構成)

東京外国語大学日新寮アーカイブズ展. 東京外国語大学, 2012.11.21-25. (日新寮アーカイブズをつくる  
会主催 共同企画・構成)

「フランスのアートポスター：美術館／展覧会への誘い」展. 下関市立豊北歴史民俗資料館, 2014.8.27-28.  
(北高夢ロード実行委員会主催 企画・構成)

TUFS Digital Archives 日新寮. 東京外国語大学文書館, 2014.11-. (東京外国語大学文書館制作 日新  
寮アーカイブズをつくる会協力 共同企画・構成)

「おとろしい：レオポルド・ショヴオーの絵本世界」展. 下関市立豊北歴史民俗資料館, 2015.8.19-25.  
(北高夢ロード実行委員会主催 企画・構成)